



今回取材させていただいた村井さんのお仕事は仏壇の修理や洗い直し。なかなか聞かない仕事だ。お客さまから仏壇を預かり、約三ヶ月かけて新品同様に復元する。

まずは仏壇を部品ごとに全て取り外し、薬品や水などで洗い、乾燥させる。その後、機械を使って表面を研ぎ、仏壇用の塗料で下地を塗り、金箔を貼る。悪くなっていると、一般の方だけでなく、仏壇店からの依頼もあるが、注文数は昔に比べると減ってきている。

「仕事がピークだったのは戦争で亡くなられた方の三十三回忌から五十回忌にあたる頃かな...」

改めて、この仏壇に携わる仕事の意味を知る。仏壇工房を始めたのは、村井さんの父親が東京から小矢部に戻り、仏壇関連の会社に勤めたのがきっかけ。それから独立して今の仕事を始めた。昔は、修理や洗い直しだけでなく、一から仏壇を製造していた。「仏壇を作った経験があるからこそ、洗い直しをする時に、細部にわたる心配りができる。」

涙を流して 喜んでくれる仕事。

No.98

村井仏壇工房 村井 昌行

この街で頑張る人、会社、団体を「人と人とのつながり」で紹介していきます。

仏壇の修理は、専門的な技術が必要なため、後継者がなかなか育たない職人の高齢化で、お店をやめる同業者も多い。村井さんは、小さい頃仕事を手伝っていたが、継ぐ気はなかった。「社会人となり、金沢などでバイトをしていたが辞めてしまえば家にいるとき、「やらんか」と父親に誘われ、やってみると段々面白くなってきたんです。」

「毎回ひとつひとつ違う仏壇と向き合い、時間をかけ、いろんな工程を行う。大変だけど、流れ作業ではなく、とてもやりがいのある仕事です。」

お客様によって、仏壇に対する思い入れは違う。



その経験と知識が、今の村井工房の技術と信頼に繋がっている。



趣味はサッカー観戦。将来の夢を聞いてみた。「この仕事は続けます。」そして、ゆっくり考え出したこたえは...、「親父越え。父はずごい。」



それは仏壇を引き取りに行った時に分かる。「洗い直しをすることで、崩れかかった仏壇が新品同様に変わる。納品に行くとき、本当に喜んでくれる涙を流してくれます。」

キレイになった仏壇を近所の方や親戚の方が見に来られる。家の中で一番神聖なものがキレイになることは最上の幸せだ。「納品する時は、お客さま同様、僕らもかえ難い感動を頂きます。」



仏壇製造・洗い直し修理
村井仏壇工房

〒932-0033 富山県小矢部市芹川936-2
TEL 0766-67-5143

あらゆる場面に對しての選択と決断。その精度とスピードを身につけていくことになる。

富山県の中でも場所によって仏壇の形が違う。金沢型、高岡型、城端型など。最近では中国製も増えてきた。

まだまだ仏壇のある風景が当たり前の土地。これから新しい家を作る若者達は、どんなライフスタイルを選択していくのだろうか。

今、出逢った仲間たちが
つながれば、奇跡は起きる。



プロボノ活動・マイプロジェクトを
推進するための情報発信基地

LiTa Oyabe
ELABO

リタオヤベ イーラボ
富山県小矢部市鷺島37-2(ヤマシナ印刷株式会社2階)
facebook.com/ELABO.LiTaOyabe
運営組織:ヤマシナ印刷株式会社 / ELABO実行委員会

心のこもった仕事は
必ず伝わるんですね。



しげるの一言